

貞静学園短期大学 専任教員紹介

2024年4月1日現在

項目	内容
名前	野城 尚代
研究テーマ	子ども家庭福祉、社会保障政策、育児休業・介護休業制度
所属学会等	社会政策学会
	日本社会保障法学会
	日本労働法学会
主な 著書・論文等	〔著書（分担執筆）〕 森田明美編著『やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ よくわかる女性と福祉』ミネルヴァ書房（2011年）担当部分「第3章ライフスタイルの選択」（42-55頁）全216頁
	〔著書（分担執筆）〕 長田真澄編『現代の生活経済』朝倉書店（2002年）担当部分「第9章 生活保護制度における教育保障」（139-152頁）全203頁
	〔論文〕 「社会保険制度にみる『子育て支援』機能」（査読有）東洋大学人間科学総合研究所紀要19号（2017年）199-211頁
	〔論文〕 「育児休業取得率をめぐる動向—政策的な観点から—」（査読有）東洋大学人間科学総合研究所紀要15号（2013年）101-113頁
	〔研究ノート〕 「新型コロナウイルス対策における『エッセンシャルワーカー』—医療従事者によせて—」（査読有）東洋大学人間科学総合研究所紀要23号（2021年）185-195頁
	〔研究ノート〕 「育児休業期間と復職についての一考察」愛国学園大学人間文化研究紀要19号（2017）69-77頁
	〔研究ノート〕 「ファミリー・サポート・センターの創設期の活動に関する一考察—地域の子育て支援機能への展開—」愛国学園大学人間文化研究紀要18号（2016）65-77頁
	〔学会発表〕 「少子化対策の変容についての一考察—児童手当制度と育児休業制度に着目して—」社会政策学会第130回（2015年春季）大会プログラム（29頁）
	〔解説・解題（分担執筆）〕 原ひろ子監修、藤原千賀・武見季子編『（戦後女性労働基本文献集〈別冊〉）戦後女性労働基本文献集 解説・解題』（担当部分）大羽綾子著『変わりゆく婦人労働』105-108頁、岩男寿美子・杉山明子編『働く母親の時代：子どもへの影響を考える』199-201頁、日本図書センター（2006年）
	〔辞典（分担執筆）〕 硯川真旬監修『国民福祉辞典〔第2版〕』金芳堂（2006年）（家事労働の社会化、合計特殊出生率、世帯等38項目を担当）
主な研究活動	科学研究費補助金（2020～2024年度）基盤研究(B)「10代親の主体的子育てを地域連携で支える継続的福祉支援モデルの日韓共同開発」研究代表者・東洋大学社会学部教授（現在、東洋大学名誉教授）森田明美、分担研究者
	科学研究費補助金（2016～2019年度）基盤研究(B)「10代親の子育て・就学・就業に関する総合的地域支援開発—日韓の質的縦断調査から」研究代表者・東洋大学社会学部教授森田明美、分担研究者